

当局が免許を取得したのは1983年の春。自宅は無線をやる想定がなく、5階建ての団地の一階。谷間の底だった。当時は狭山から小金井へ車で通勤をしていたこともあり、往復2時間以上を車中で過ごしていた。そこで車がシャックになった。スバルレオーネワゴンAWD。自宅では一切無線はできず、あちこちに移動しては楽しんでいた。車上荒らしに遭ってリグとヘソクリを失ったこともあった。

車にはTS660(TRIO)とマランツのVHF,UHF機が載っていた。TS660がメインで、21, 28, 50MHzの組み合わせは電話級にはもってこいの組み合わせ。3mと少しのホイップに小さなマッチングボックスにリレーを組み込んで、バンド切替とチューニングが連動して自動で切り替わるようにして悦に入っていた。

よく顔振峠の奥まで入って移動サービスやコンテストにチャレンジしたものだ。写真は免許取り立てで6&DWNコンテストに50MHzヘンテナ、V,Uは小さな八木で徹夜で頑張った時のもの。これでニューカマー優勝した。関東で一位で全国でもトップの得点2万点超・・・元気良かったんだなあ。翌年の全市全郡ではニューカマーで2位。ほとんど病気の状態だった。免許取得から数年間はこの場所でいろいろなコンテストに参加し、そこそこの成績を修めて、何枚かの賞状も頂いた。写真を見ると屋根馬にポールを立ててステーを取っている。この翌年には自作アイデアの「踏みたて君」もどきが活躍した。



その頃のログをめくると144, 430のSSB QSOが多く、21ではけっこうモバイルでDX QSOがある。免許取り立ての出勤途上でVK2XT, Bill OMに21MHzで走行中にお相手いただいたのは印象深く記憶している。(初モバイルDX) 毎朝JA各局との交信を楽しんでいらっしやった模様だ。1984年の春には50.240の各局とのモバイル交信が記録されている。'85あたりでは頻繁に240各局のコールサインがログに現れている。徐々に50MHz交信の比率が増え始めている。

1985年11月には念願のアンテナが立てられる戸建てに転居。アンテナの整備と共に50MHzでの交信が圧倒的に多くなっている。

1988年1月からはロールコールのキイをさせていただいた。3ヶ月に一度くらいの周期だったようで、一回に25局前後がチェックインされている。ログを見ると、今なお世話になっている方や、なつかしいコールサインが並んでいる。汗をかきかきオペレートしたのを覚えている。RTTYを始めたのもこの年。ハードでの変復調で、MSXパソコン(ゲーム機のようなPC)で送受信できるようにインターフェースを作ったのを思い出す。今はMMTTYソフトにマクロがあるが、当時はBASICで定型文を作っておいて送受信できるように工夫し、テキスト編集しながらのQSOも多かった。キイボード操作が追いつかず「疲れたよ」と愚痴を送信して相手の局長さん(DU)に笑われたのを覚えている。最近はオールソフトで、ポチッポチッと一丁上がりになってしまっている。さらに今ではFT8のようなデジタル通信も増えた。

従事者資格も電話・電信・2アマ・1アマとゆっくと階段を上ってきた。最近では養成課程の講師もさせていただいている。無線で飯を食ってきた恩返しのつもり。

35年のハムライフのほとんどで50.240各局のお世話になり続けている。ご指導いただいた皆さまに厚くお礼を申し上げます。